

令和7年2月5日

令和6年度 大阪府立福井高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

1 会長あいさつ

- ・入試倍率が気になる日々です。・学校が担う責任の多さを感じる一方、学校の元気な様子を拝見しています。

2 校長あいさつ

3 今年度の活動報告

資料1～6

【生徒取組み・進路実現】

○多文化共生プロジェクト

- ・日本語能力検定N2以上の言語力の育成について。
- ・次年度、予算を得てこの部分を校内的に底上げできる取り組みを考察したい。

【分掌・委員会】

○教務部

- ・在籍状況について・内規について ・選抜について・校務処理システムの大幅改変 ・令和7年度以降、「系列長」の設定

○生徒指導部

- ・登下校時の正門での声掛けと、生徒様子変化のキャッチに努めた。
- ・自転車利用生徒への事前指導、マナー教育などを繰り返して実施。
- ・遅刻指導では、生徒だけでなく、保護者や家庭との協力のもと実施。
- ・授業規律では、授業間の遅刻や授業忌避の件数は大幅減少。
- ・スマートフォンの利用や公共のマナーなど、周囲に迷惑となる行為に対する指導、SNSトラブルの回避能力を育成する。
- ・全体を総じて、特に1年次、集団作りや距離感において支援していく。

○進路指導部

- ・進路決定率では、指定校推薦よりも、多種の入試を受ける生徒が増加した。医療福祉系への進路希望者減。

○活動支援部報告

・部活動等、地域連携について報告。

○総合学科委員会

・生徒の実際を考察し、各授業力の向上につなげた。・電子黒板の導入と活用。

○広報活動報告

・中学校訪問の充実。・学校説明会では、校外多エリアにおける説明会の実施。・オープンスクールの活用 積極的な参加を募る。

【アンケート】

資料7 総合学科アンケート

資料8 学校教育自己診断

・生徒指導 生徒会 部活動 保護者の支援 数値上昇。「学校に行くのが楽しい」 数値上昇。

4 今年度の学校経営計画及び学校評価

資料9 令和6年度 学校経営評価及び学校評価

○質疑応答

今年度の活動報告について

【平野委員】

年度末時点での進路変更者の実際は？

【村林校長】

追認考査の在り方について再考する必要がある。

日々の指導をさらにしっかりと取り組む。

【野村活動支援部長】

今年度、通信制の高校がすでに年度内転入を締め切った学校も出てきている。

5 次年度の学校経営計画及び学校評価

資料10 令和7年度 学校経営計画

6 委員より

【平野委員】

- ・公立学校、府立学校の意味合いを再考していただきたい。これまでの学校のシステムやルールにマイナーチェンジを加えながら、サイズが小さくなりながらも、学びを作っていく学校づくりを期待します。
授業と地域とのつながり（出前授業だけでなく、例えば授業の半数生徒がボランティアに参画できるなど）がもっと増えると、同時に、生徒ひとり一人のマナーや礼儀など、生徒のようすが変わっていくようすを見られるようになるのではと期待します。

【野口委員】

- ・進路を「早く決めたい」と、年々、高校入試のプレッシャーに対して、精神面が安定しない生徒が増加傾向にある。全員で受験を乗り越えていこうという、「受験は団体戦」から、「個々人」の受験といった様相への変化があるように思える。

【塩田委員】

- ・社会でもハラスメントについて話題になることが多くなっている。生徒へのいじめ対策に限らず、教職員に対するハラスメント改善の環境について、どのように対応しているか。教職員が元気でこそ充実した生徒への関りができるものと思う。

【山村教頭】

- ・ハラスメントに関する窓口としての管理職の役割、窓口の提案、早期発見に向けた日常的な声掛けに引き続き努める。

【福田委員】

- ・もっと行政と学校現場とのつながり連携を構築していきたい。もっと気軽に行政へ問い合わせや連携を求めていただけて結構です。

【谷本委員】

- ・こんなにも多くの中学校に実際に中学校訪問をされて、その種をまいた成果が本校への志願者につながっていくのではないかと期待します。
- ・生徒アンケートより、「進路について考える」の数値が3か年で上昇している数値を見ると、成果がみられる。
進路に直接関係のないと思われる授業や科目選択が、実はそこに「生きる力」となる知識などを考える機会になるのではないかと、同感します。
- ・3年間お世話になりました。福井高校の今後の発展を祈願しています。

【勝部委員】

- ・例えば国際交流など、学校現場への「負担」は増加ばかり。「省けるものは省く」を、もっと積極的に。
- ・内規をつくることでおしまいではなく、内規を活用する教職員のスキルアップが実は最も重要である。内規を作ることの意義について

て、教職員に研修などしてみてもどうか。

- ・生徒対応や授業準備、分掌業務など教員の仕事は、全て優先順位が1位というように思えるが、その取り組み方では仕事を継続するのが難しくなってしまう。全体を俯瞰して仕事を細分化し、優先順位をつけて業務に取り組めるようなスキルアップが必要。経験の少ない教員のスキルアップに兼ねて、普段からの声掛けでハラスメント防止も兼ねて取り組んでください。「しんどい」を見るだけでなく、「いい」もよくみてあげてください。

7 その他
なし

8 校長あいさつ

- ・ご助言いただいた内容を含め、次年度の運営計画につなげていきます。次年度も引き続いてのご協力をお願いいたします。

令和6年度 大阪府立福井高等学校 学校運営協議会委員（敬称略）

番号	名 前	職 名
1	勝部 幸	元福井高校校長
2	平野 智之	追手門学院大学教授
3	野口 真代	「福井高校を育てる会」会長 茨木市立北陵中学校長
4	塩田 寛	福井地区自治振興会
5	福田 正幸	茨木市健康福祉部 支援員
6	谷本 紀子	本校PTA会長

事務局

番号	名 前	校務分掌等
1	村林 隆志	校長
2	山村 宏昌	教頭
4	曾根 康介	首席・生徒指導部長
5	水谷 雅哉	教務部長
6	川端 直子	進路指導部長
7	野村 達記	活動支援部長・地域連携主担